

地域銀行の令和 6 年 3 月期決算の概要

1. 損益の状況（銀行単体ベース）

- 令和 6 年 3 月期の当期純利益は、資金利益の増加や債券等関係損失の減少等により、前年同期に比べ、9%の増益。

（単位：億円）

	R4 年 3 月期	R5 年 3 月期	R6 年 3 月期	前年同期比
業務粗利益	42,195	38,330	40,253	1,923
資金利益	37,438	37,851	38,835	984
役員取引等利益	6,038	6,387	6,726	339
その他業務利益	▲ 1,317	▲ 5,955	▲ 5,346	609
うち、債券等関係損益	▲ 1,893	▲ 6,477	▲ 4,767	1,710
経費	▲ 28,836	▲ 27,988	▲ 28,610	▲ 622
実質業務純益	13,359	10,342	11,643	1,301
コア業務純益	15,252	16,818	16,409	▲ 409
コア業務純益 （除く投資信託解約損益）	14,568	15,893	15,983	90
与信関係費用(※)	▲ 3,217	▲ 1,790	▲ 2,330	▲ 540
株式等関係損益	1,621	3,222	4,276	1,054
当期純利益	8,542	8,776	9,582	806

※ 与信関係費用について、正の値は益を、負の値は損を表す。

	R4 年 3 月期	R5 年 3 月期	R6 年 3 月期
貸出金（末残）	298.8 兆円	312.7 兆円	322.9 兆円

2. 不良債権の状況（銀行単体ベース）

- 令和 5 年 3 月期に比べ、不良債権残高は概ね横ばい、不良債権比率はやや低下。

	R4 年 3 月期	R5 年 3 月期	R6 年 3 月期
不良債権残高	5.5 兆円	5.6 兆円	5.7 兆円
不良債権比率	1.81%	1.76%	1.73%

3. 自己資本比率の状況（銀行単体ベース）

- 国際統一基準行の総自己資本比率、国内基準行の自己資本比率は、いずれも令和 5 年 3 月期に比べ上昇。

（国際統一基準行：10行）

	R5 年 3 月期	R6 年 3 月期
総自己資本比率	13.94%	15.40%
Tier1 比率	13.54%	15.07%
普通株式等 Tier1 比率	13.54%	15.05%

（国内基準行：90行）

	R5 年 3 月期	R6 年 3 月期
自己資本比率	9.98%	10.07%

（注1）記載金額・比率は、四捨五入して表示。

（注2）R4年3月期～R6年3月期の集計対象は100行（地方銀行62行、第二地方銀行37行及び埼玉りそな銀行）

（注3）与信関係費用・不良債権の計数には、再生専門子会社分を含む。